

2018(平成30)年

4月号

桜満開。月は満月。花見一杯。月見一杯。

鉢見いん!?...一杯の花は菊じめるな!!
花札を知る男。

西光寺夕刊

心耕

6 6 3 9

今月の行事

○十二日(木) 常例法座 午後一時より
法話担当...住職

○二十一日(日) 日曜法座 午後一時より
数寄物の話し...若住職

○十三日(金) 写経会 午後一時より
男女老若問わず

○四日(水) 勉強会 午後六時より
○十二日(木) 午前十時半より(余計な講義)

○二十二日(日) 午後三時より (法座終了後)
門信徒会総会

草刈り 15日(日) 朝8時より
第二回曜の朝九時より
約1時間 センター区の朝市が
第三回曜に物しました。

御晨朝 毎朝六時半
おあさび

燕が帰って来て目の前をうらやましく横切っていた。すっかり春だ。去年買ったチューリップの球根、冬の間に植えたとおりに並んで咲いて十、二十、三十。もう少し道路の近くに植えとけばよかった。たかなと思っっている。今度は白と混じえて赤・白・黄色。歌のとおりにならべて咲かそう。

これから田んぼ水が入り、乾いた光景がうらやましい景色に変わる。色んな花々が次々咲いて学校やら保育園やら、新しく通い始めた子供達も大きな声で笑いだすから通る。蛙の声とキジの声を聞き入ってくる。梅は盛りと過ぎて花弁を水の上へ散らし、青葉が茂り始める。春、ていいなア。ナツメグ

回心えしんというは

自力じりきの心こころをひるがえし

すつるをいうなり

唯信鈔ゆいしんしやうもんい文意

今月の言葉は聖覚法印の唯信鈔で念仏往生第十八願を説かれるところに引用された

彼仏因中立弘誓 聞名念我総迎來 不簡貧窮將富貴

不簡下智与高才 不簡多聞持淨戒 不簡破戒罪根深

但使回心多念仏 能令瓦礫變成金

五会法事讚

の但使回心多念仏を解釈されて、「但使回心はひとへに回心せしめ

よといふことばなり。回心といふは自力の心をひるがへし、すつ

るをいふなり。実報土に生まるるひとはかならず金剛の信心の

おこるを多念仏と申すなり。多は大のこころなり、勝のこころ

なり、増上のこころなり。大はおほきなり、勝はすぐれたり、

よろずの善にまされるとなり、増上はよろづのことにすぐれた

るなり。これすなはち他力本願無上のゆゑなり。自力のこころ

をすつといふは、やうやうさまごまの大小の聖人・善悪の凡夫

の、みづからが身をよしとおもふこころをすて、身をたのまず、

あしきこころをかへりみず、ひとすぢに具縛の凡愚・屠沽の下類、

無碍光仏の不可思議の本願、廣大智慧の名号を信樂すれば、

煩惱を具足しながら無上大涅槃にいたるなり。具縛はよろづの

煩惱にしばられたるわれらなり、煩は身をわづらはす、悩はこ

ころをなやますといふ。屠はよろづのいきものをころしほふるも

のなり、これはれふしといふものなり。沽はよろづのものをうり

かふものなり、これはあき人なり。これらを下類といふなり。」

と述べられたところからとられたものです。阿弥陀仏の

第十八願、即ちご本願です。弥陀の本願を真受けすることを

述べられているのです。

回心えしんというのは真実に真向かうということ。自力じりきの心しんをひる

がえすといふことは、自らの一切が明らかになるということ。

自らの一切が明らかになり、ナンマンダブナマンダブ、弥陀の

本願がわが身に至り届いていると知られるとき、大小の聖人・

善悪の凡夫として隔てられるこの世の障壁があらゆる意味を無

くしていくことを領けましよう。

あいさつ

西光寺から門信徒の皆様には毎月送られている機関誌「心耕」に、この四月から一部原稿を挿入させていただくことになりました。三島惠真と申します。

西光寺の吉弘住職と初めてお目にかかったのが義父の死亡時、中森様との縁でありました。中森様とは同じ福井県大野郡の穴間出身ということで数十年の付き合いがあったのですが、また何度も西光寺にお参りしないかと誘われていたのですが、忙しいと言うことを理由に足が向きませんでした。しかしあるとき義父が五井の布教所を見にいこうというのでイトーヨーカ堂の駐車場まで行って、看板は見て知っていたのですが、入り口が判らないこととお寺という固定観念的なイメージを持っていたことから、それらしきものが見当たらないということを探すのを断念した記憶があります。まだまだ本気モードではなかったのです。

その後しばらく浄土真宗のことはすっかり脳裏から消えていたのです。義父のボケが、周りがボケと言いますが本人はいたって正気だったようで、俳諧が夜昼かまわず行われるようになります。義母はそのことで心身ともに大変苦勞をしていました。しかし義父は私の顔をみると笑顔になって落ち着くのです。私のことを他の誰かと勘違いしていたのかもしれない。ある日身支度をしておかけようとしているのを義母に止められて怒っているときに私が「どこに行きたいのか」と聞くと「五井に立派なお寺ができたというから見に行くのだ」というのです。場所が分からないし体力的に無理でした。これが会話の最後です。その後紙に家族の名前を箇条書きにして「みんなありがとう」と書いた翌日、二度目の脳梗塞で緊急搬送され御浄土に向かいました。

穴間という地は全村が浄土真宗で東西の本願寺が共存していました。東西で助け合って色々な行事を行っていました。いまだ

は九頭竜川ダムの底に沈んでいて面影はありません。かつては明治政府の廃仏毀釈に穴間地区全体で抗議して、首謀者と見なされた僧侶と問徒数名が投獄され処刑されたこともあった法義の篤いところだったようです。

このような土地柄から出てきた義父の根底に報恩感謝の浄土真宗が脈々と流れていたことを思うと最後は浄土真宗でと西光寺にお願ひすることに相成ったのであります。西光寺にご縁を頂いてかれこれ十二年が過ぎました。あれから西村さん、中崎さん、志賀さんと連続研修を受講し、住職の許可のもと中央仏教学院通信教育専修課程に進み、現在、西光寺の衆徒として皆様に可愛がられています。有り難いことです。

私の法名は惠真といひます。十年前に本山で頂き、その法名の由来の説明書きに注釈版聖典に「世に興するゆえは、道教を光闡して、群萌を拯い、恵むに真実の利をもつてせんと欲してなり（大經）」とあり、非常に大乘至極を考えさせられることになり、結局「おまえは仏道という真実の価値を人々に弘めなさい」ということなのだろうと身勝手に解釈したのであります。されど基礎がありません。しかし昔より「見るものは見られている」とか「教える者は教えられる」と言われています。そこで勉強会を始めることによって皆様と俱に学びたいと考えました。教えることによって学ばせて戴くという積極的な行動です。「教人信自信」または「利他利自」或いは「利他他利」と言うことになろうかと思ひます。「利他」「教」「恵」とは布施行のことです。この話は長くなるので機会を改めたいと思ひます。親鸞聖人は「人倫の喩言を恥じず」と言つて『教行信証』をお作りになり、今日の私たちにも浄土真宗の教えを布施されてあることと感じております。このようなわけで住職から頂いたこの紙面を生かして仏法・真宗・社会に関わる記事を人倫の喩言を恥じず投稿して参りたいと思ひますのでよろしくお願ひします。

法座案内

十二日(木)

定例法座

十三時〜十五時

法話・住職

「回心というは

自力の心をひるがえしすつるをいうなり」

今月の法話カレンダーより、住職がわかりやすく阿弥陀如来の話をしめます。

二十二日(日)

仏教入門法座

十三時〜十五時

担当・若住職

「歎異抄第四条を読もう」

「歎異抄」ほど一宗派の壁を超えて、多くの人たちに読み継がれている宗教書はありません。その歎異抄を共に読み進めていきましよう。

門信徒会総会

一五時〜

去年度の報告、今年度の予定を決めます。

各種ご案内

・お朝事

毎朝六時半〜七時、お勤めをしています。日々のお参り、命日などにお参り下さい。

・草取り

一五日(日) 八時〜九時

第三日曜に変更です。是非ご協力を！

・写経会

のんびりやっています。いつでもどうぞ！

一三日(金) 一三時〜

・壮年会・婦人会主催の勉強会

三島さんが講師です。真宗の教えを知りたい方は是非！

壮年会 四日 一八時〜 五月は二日

婦人会 十二日 一〇時半〜

・門信徒会費 口座振込について

振込番号です ゆうちよ銀行

西光寺門信徒会 00180-0-713424

・心耕発送者募集！

心耕(月刊西光寺新聞) 發送作業をお手伝いいただける方を募集します。

形態…三カ月に一度 主に月初めの平日 時間…一〇時〜一二時 特製ランチ付♪

・西光寺ヨガ

先生が産休中です。三月無事に出産されました！六月再開をめどにしています。

・メールマガジンのご案内

行事等をメールマガジンで配信。登録は、左記のQRコードを用いるか、

saikohji@saikohji.netまで、

氏名を記入し送信してください。



・お寺の臨海学校予告！

夏休み、子どもの絶大なる人気を誇るお寺の臨海学校。今年は千葉県が担当です。若住職も実行委員として参加します。小学校三年生から中三までが対象です。西光寺から送迎有。いまから予定を開けておいてください。

日にち…八月二一〜二三日

会費…一三〇〇〇円

場所…小見川少年自然の家

内容…カヌー、航空博物館、線香作り等

懐兔

三月三十一日、西光寺
花まつりの夜、お寺の前
の桜並木は満開、月は満



月。最高の花見日和だったのではないでしようか。

月にウサギが住む物語が世界のあちらこちらで語り
継がれています。月の別名が「懐兔」。中にはウサギでは
なくカニであったりロバであったりするそうですが…。

『ジャータカ物語』というお釈迦様の前世の話をもと
めたものの中に、「月とウサギ」の話があります。

昔々、山の中で猿と狐とウサギが仲良く暮らしていま
した。ある日、三匹は山の奥深くで力尽き倒れている老
人を見つけました。何とかして助けようと、猿は得意の
木登りで木の実を集め、狐は川から魚を獲り、それぞれ
老人に与えました。ウサギは・・・というと、非力で何
も獲ってくることは出来ません。そこでウサギは考え込
み、猿と狐に火を焚くようお願いをしました。そして、
焚火の中に自ら飛び込み、食料として老人にその身を施
したのです。



その老人の正体は帝釈天でした。ウ
サギの捨て身の慈悲を世界中に知れわ
たるようにと、ウサギを月に上げたの
です。

枯枝で咲く桜
葉も花も咲き
植物も奥が深い

サ右作

こんなところに 仏教用語

身近な仏教用語
を紹介して
います。

穢土

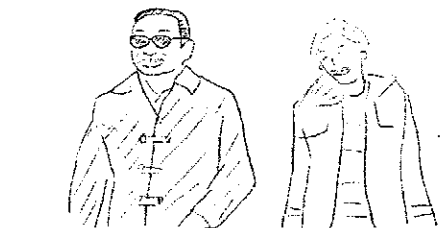
穢土：けがれた国
土。煩惱を抱えた

凡人が住む世界。迷いの世界の総称。

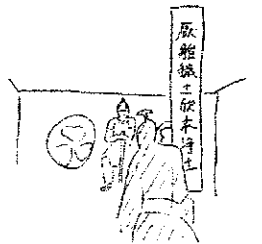
どこかで聞いたことはないでしようか。「厭離穢土欣求淨
土」。迷えるこの世を厭い、仏の国の浄土を願う意味の浄土
教で用いられる用語です。

戦国時代好きな人はピンと来たのかもしれませんが。徳川家
康の旗印として有名です。桶狭間の戦い後、今川家側に属し
ていた家康は、菩提寺の三河の大樹寺に行き、松平家の墓前
で自害をしようとします。そこへ住職登善が、「厭離穢土欣求
浄土」の教えを説き思い留まらせたそうです。その家康が秀
吉の命令で江戸に転封となります。

そこでちよつとした疑問です。当時、地名は権力者によつ
て変更されることがよくありました。家



康は江戸行きが決まった時に、「エド」と
いう発音に対して「穢土」を思い浮かべ
なかつたとは考えられません。なぜ「エ
ド」を残したのか・・・わざとだった
ら深い理由だろう・・・。プラタモリで
やってもらえんだらうかと密かに期待で
す。



住職多感

新年度になりこの『心耕』の二頁を三島さん
 にお願ひすることになった。雑な私と比べて丁
 寧に文章を仕上げるのが出来るので、読み応
 えのある連載になっていくと思う。ただ、振り
 仮名を付けてほしいという要望にはなかなか
 応えてくれなさそう。でも読みづらい文字に
 はちゃんと配慮はしてある。勉強会に来ていた
 だければ一層分かりやすくなると思う。

門信徒会の会費納入録と振込用紙とを同封

させて頂きました。毎年申し上げていること
 ですが、すでに納入済みの方には失礼にあたるこ
 とです。けれども発送作業の都合で別に仕分け
 することがなかなか難しいのです。ご容赦くださ
 い。また、現在『心耕』の発送は九百部ほどで
 会費を納めていただいている門信徒は約四百
 人です。事情・考え様々あって決して強制はで
 きませんが、これからの西光寺の維持・運営に
 ご協力ください。この二十二日の門信徒会總會
 に出席また總會報告を読んでいただければ、会

の趣旨・活動などいろいろとお分かりいただけ
 ると思います。

今年の夏の暑さの厳しさの先触れのような
 暖かさです。気候のみではなくこの先なにかと
 厳しくなる気配を感じます。お念仏の大切さ、
 仏教が伝えてきたものの大切さがこの時代で
 あればこそ一人一人の心に沁みわたっていく
 ように念じます。沈み行く夕日をじっと眺めて
 故郷を思い親を思い祖父母を思ってみませ
 んか。改めていかに自分が恵まれていたかを深く
 思い直してみませんか。

この世は地獄であろうかと思われれることも
 あります。けれど自分が歩かせて頂いた道
 のりにはどれだけの人の思いがあつたのかを
 思い直してみませんか。その人の思いは今もこ
 れからも続いていく確かなものだと思えるま
 で、じつと夕日を眺めつづけてみませんか。夜
 遅く月が高く輝いているときは遠い思い出に
 耽ってみませんか。自分はここに置かせてもら
 っているのです。ナンマンダブナマンダブ

五月の行事

十二日(土) 常例法座

二十七日(日) 御日蹟巡拝

池上之の 写経会 十一日(金)

三島之の 勉強会 2日(月) 18:00
 12日(金) 10:30

二十一日(月) 築地本願寺降誕会参拝

個人参拝・位取もお参りします。

草刈り 20日(日) 朝8時
 約1時間

御晨朝 朝6時
 ~30分

発行

浄土真宗本願寺派(西)

西光寺

〒二九〇一〇〇二四

千葉県市原市根田

七三三十一

TEL. 0436-22-7412
 FAX. 0436-24-1652
 HP <http://saikohji.net>
 MAIL saikohji@hb.tpl.jp